

ニッペ

## 高弾性ファイン4Fセラミック

高弾性硬化剤を混合することで  
JIS A 6021の上塗りとしてご使用いただけます。

ホルムアルデヒド  
放散等級

F☆☆☆☆

塗料液はそのままで高弾性硬化剤を使用することで高弾性適性が付与されます。  
(つや有り塗料専用です)

## ■ 特長：高弾性硬化剤を混合した場合

## ① 改修塗装時

改修時、既存塗膜が高弾性の場合でも、トップコートのみでの改修が可能です。  
※ 既存塗膜の状態により『ファイン浸透シーラー』の塗装が必要です。

## ② 新築塗装時

JIS A 6021 建築用塗膜防水材料アクリルゴム系の上塗りとして適用が可能です。

## ■ 用途

外部壁面

## ■ 標準塗装仕様

改修塗装仕様：旧塗膜が高弾性塗料などのトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエス等で素地を調整する。						
上塗り	ニッペ高弾性ファイン4Fセラミック	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー

新築塗装仕様：JIS A 6021建築用塗膜防水材料アクリルゴム系仕様 凹凸仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ・ウールローラー
中塗り①	ニッペDANエクセル中塗りJ	1	1.70~2.10	4時間以上	水道水	4~7	タイルガン
中塗り②	ニッペDANエクセル中塗りJ	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	0~2	タイルガン
上塗り	ニッペ高弾性ファイン4Fセラミック	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー

- ★ 高弾性硬化剤はつや有り塗料専用です。つや調整品にも混合可能ですが、十分な弾性機能が得られないため弾性塗材への適性は避けてください。  
つや調整品に混合した場合の塗装仕様は、一般硬化剤と同様の扱いとしてください。
- ★ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量を調整してください。
- ★ 『DANエクセル中塗りJ』の仕上げで、ヘッド押さえ仕上げや波形仕上げの場合の詳細については、最寄の営業所までお問合せください。

# ニッペ 高弾性ファイン4Fセラミック

## 塗装基準

- ◆ 混合 : 2液形塗料のため「塗料液:硬化剤=5:1(重量比)」にて混合し十分にかはんしてください。
- ◆ ポットライフ: 6時間(気温23℃)

## 容量・荷姿

高弾性ファイン4Fセラミック 15kgセット	
塗料液	高弾性硬化剤
12.5kg	2.5kg
石油缶	扁平缶
塗料液:硬化剤 = 5:1(重量比)	

## 主な適用下塗り塗料・中塗り塗料

塗料名
ニッペパーフェクトフィラー
ニッペパーフェクトサーフ
ニッペ DAN タイル中塗り
ニッペ DAN フィラーエポ
ニッペタイルラック EMA-S ベース 100K
ニッペファイン浸透シーラー
ニッペ1液ファインシーラー
ハイボンファインプライマーII
ニッペ1液ハイボンファインデクロ
ニッペタイルラック EPO-S ベース

## 性能 : JIS A 6021 建築用防水塗材 アクリルゴム系仕様 [DANエクセル中塗りJ] との組合せ性能

試験項目	規格	性能		
鏡面光沢度(60度)	70以上	合格		
引張り性能	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	1.3以上	合格	
	破断時の伸び率 %	300以上	合格	
引裂性能	引裂強さ N/mm <sup>2</sup>	6.0以上	合格	
	引張強さ比 %	試験時温度 -20℃ 100以上 400以下 試験時温度 60℃ 30以上	合格	
温度依存性	破断時の伸び率 %	試験時温度 -20℃	70以上	合格
		試験時温度 23℃	180以上	合格
		試験時温度 60℃	150以上	合格
		加熱処理	80以上 150以下	合格
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	促進暴露処理	80以上 150以下	合格
		アルカリ処理	60以上 150以下	合格
		加熱処理	200以上	合格
		促進暴露処理	200以上	合格
伸び時の劣化性状	オゾン処理	加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形を認めない	異常なし
		促進暴露処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形を認めない	異常なし
		オゾン処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形を認めない	異常なし
		付着性能	付着強さ N/mm <sup>2</sup>	無処理 0.70以上 温冷繰返し処理 0.50以上
たれ抵抗性能	たれ長さ mm	しわの発生	いずれの試験体も 3.0以下	合格
		しわの発生	いずれの試験体にも認めない	異常なし
容器の中での状態	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくなり均一になるものとする		合格	
低汚染性	雨だれ汚染露露6ヶ月で見本品と比べて著しい汚染が無いこと(社内試験)		合格	

## 安全衛生上の注意事項 ニッペ高弾性ファイン4Fセラミック塗料液・硬化剤

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ・容器を密閉してください。
- ・容器および受器を接地してください。
- ・防塵型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
- ・適切な呼吸用保護具を着用してください。
- ・適切な保護手袋/防護マスクまたは防護マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。
- ・皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 本品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・濡れやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高弾性外壁」にて、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですら旧塗膜が剥がれることがあります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高弾性外壁」に塗装する場合は、蒸熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なること、建材の変形、塗膜の剥がれ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- ・過剰希釈をすること本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・防塵・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などによって、本来の低汚染機能が現れない場合があります。
- ・著しい汚染が発生しそうな箇所は、状況に応じてニッペリスタコートやオーバーコート剤にて塗装することで汚染を軽減することがあります。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染も発生する原因になります。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつやや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・異なる色相を塗り重ねる場合(例1回目の上塗り塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りを1回目の上塗りを覆ってラインや帯などが変色(ブリード)する場合がありますのでご注意ください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気中で硬化しますので密閉して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗料の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生したカビ、汚れなどは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着層をおこすおそれがあります。
- ・既存塗膜はく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用する場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤割れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- ・風化面/風込みの多い下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・シーリングの上、酸化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- ・屋上の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉し乾燥を促すため、換気を十分にしてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にやり、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、取割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペペリドオフプライマーを下塗りすることで、可塑移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、取割れが起こることがあります。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。薄めすぎは剥げ/力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに汚染したイローラー、レド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、色相を下塗りしてから塗装してください。
- ・調剤には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・はけ塗り仕上げイローラー仕上げが混在する場合、使用面、表面色が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は一方向に掛るように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- ・塗装方法により色相が多変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- ・汚れ、さびなどに伴って補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でください。
- ・使用前に内容物が均等になるようによくかはんし、開封後は一度使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料凍結の原因になりますので、保管・運搬時に容器を凍結しないようにしてください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## 危険



## 危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起すおそれ/アレルギー性皮膚反応を起すおそれ  
発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起すおそれ、または、気管やめまいのおそれ  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター  
☎ 03-3740-1120  
☎ 06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス  
<http://www.nipponpaint.co.jp/biz/building.html>

日本ペイント 建物 検索

カタログNo.  
NP-R108

AA131007T  
2013年10月作成